

島原手延素麺

島原半島で手延素麺が作られたのは、寛永14年（1637年）島原の乱の後、徳川幕府の移民政策で、小豆島の農民によって始まったといわれています。近年、素麺は奈良時代の七世紀頃に中国人によって伝えられた説があります。西有家須川は江戸時代初期に唐人屋敷や中国福建省との交流があり、その福建省が素麺の原産地で、発祥の地は西有家町須川だといわれています



麺にコシがあり

ツルツルとしたのど越し

モチモチの食感

是非、お楽しみください。

250g × 8袋入

1箱

2000 (税込) 円